

【号外】衆議院議員 大野敬太郎 特集号



大野敬太郎氏（香川三区）
初の通常国会を全力疾走

夢と希望に溢れる日本へ

第二次安倍政権最初の通常国会が終わった。この通常国会の歴史的意味は大きい。アベノミクスによって、20年間にもわたる閉塞感が払拭されつつある。問題は山積しているものの、新生自民党は、このタイミングで新しい時代に合った新しい制度を作っておかなければ、という、魂の叫びに似た気概とやる気に満ち溢れている。

そんな中、先の衆院選で初当選を果たした大野敬太郎氏（香川三区）。新鮮な政治センスで、地元のために汗をかき、着実に肅々と成果を挙げている。党内では、外交、安保、エネルギー問題、科学技術などの分野で政策議論に積極的に参加している。そんな大野氏に密着した。



觀音寺市にて街頭演説



飯島勲内閣参与と

目としては少し手を広
められませんが、例えば
は防衛大綱という戦略
文書を発表する節目
の年なのですが、多様
化する脅威に対応す
るには法制度が不十
分なんです。それをし
っかり書き込むべく議
論し、党の政府に対す
る提言書に意見を採
用してもらいました。

エネルギー問題に
も注力しています。例
えば原発。困難な課題
ですが、新規制基準に
ついて、パッシブセーフ

(2面に続く)

(2面に続く)

■聞き手「活動を始めて一番嬉しかったのは？」

大野「地元の皆様のご要望に100%とは言わないまでも応えることができたときの皆様の笑顔。そして、初当選直後に安倍総理に声をかけて頂いたこと。覚えて頂いているとは思わなかったのです。正直すぎますかね。後は、当選同期が全員ナイスガイなこと。一緒に頑張ろうと本気で思える人たちがばかり。これは大きいです。」

■聞き手Ⅱ若さは大切ですよね。
大野Ⅱ青年局って謙虚な方ばかり

大野「青年局つて謙虚な方ばかりですが、一方で大胆でもあります。実は私のキャッチコピーは「謙虚に真摯に大

■聞き手＝国会では既に3回も質問に立ったそうですね？

大野「新人にチャンスを与えてくれた(笑)。私だけじゃなく、同期も同じで

胆に」。政治は「国民や権力や歴史に常に謙虚かつ真摯でなければならぬ」。一方で必要な改革は大胆にやる。でないと新しい時代に対応できません。政治不信はそうした謙虚さや大胆の欠如から生じるもんだと思っています。信じてもらえなければ何もできませんから。その謙虚さと大胆さは我々世代の特権かもしれません。そして我々世代だけが、過去と未来を責任をもつて繋げられる世代だと思っています。

■聞き手「その他どんな活動をしてるんですか？」

大野「1年目としては少し手を広

大野二一年目としては少し手を広げ過ぎてゐるかもしれませんが、例えば安全保障。今年は防衛大綱という戦略



石破茂幹事長と丸亀駅前での街頭演説の一幕



福田達夫・中川俊直両代議士と共にグレン・フクシマ氏と



リチャード・クー氏との意見交換



World Economic Forum(世界経済フォーラム)東京ミーティングで日本の現状を語る

ティ(事故が起きたら被害を最小に食い止める安全策)の必要性を訴えました。過去の安全基準はこの議論がなかった。その議論をしたら、やっぱり事故は起きるんじゃないか、ということになつて、議論さえできなかった。おかしいですね。

農林水産政策はライフワークの一つです。TPP 議論はハードでした。最初に経験した政治的な運動でした。そして地元のためのため池整備の運動。水産業については、党内若手の水産研究会(会長小林史明衆院議員)を発足させ、定期的にあるべき姿を議論しています。

外交分野は人脈作りから始めています。結局、人間関係ですから。若いうちに人脈をなるべく作っておくこと、海外の方には進んで意見交換するようにしています。人脈作りは大切ですからね。先輩議員から、最近は何となく海外との人脈が薄くなっているという話を聞くんです。中長期的に見て、日本の政治として、ものすごく危機感を感じています。

円安になった。燃油代が上がって大変だという声がある。そうした声に個別に対策を考えることが必要だと思っています。

聞き手「通常国会の自己採点はどうですか？」

大野「大した成果は出せていません(笑)。でも、充実したハードな通常国会を乗り切りました。実際これほどハードだとは思いませんでした(笑)。朝は 8 時から会議。夕刻まで続いて、夜は種々の会合で帰宅は 10 時過ぎ。逆に言えば、中長期的な国益を考え抜ける時間がとれないのが今の自分の課題ですかね。

あくまで謙虚さを大切にしたいとの大野氏の考えが、全てを真綿で包むような表情から強く伝わってきた。限られた時間のインタビュであつたが、こうした新しいタイプの政治家が新しい時代を築いてくれるはずだと感じた。



党青年局メンバーとして福島視察



選挙制度の政策議論に参加



県や県選出議員と連携して地元の要望を陳情



宇都隆史参院議員とネット番組で国防談義



小泉進次郎・武部新両衆院議員と TPP 論議



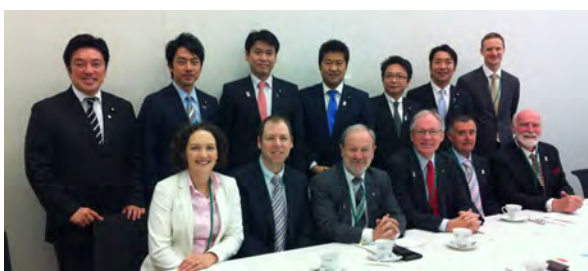
県議の先生方と宮腰光寛衆院議員を訪問し農業政策談義



額賀福志郎領土特別委員長と北方領土視察



米連邦議会スタッフとの懇談会



中山泰秀・小泉進次郎・松本洋平・木原誠二・中川俊直各衆院議員と豪州商工会長との会議



ルース駐日米大使と



科学技術イノベーション推進特別委員会での山本一太大臣と議論

予算委員会(分科会)で岸田文雄外相と議論

衆議院議員 大野敬太郎 プロフィール

昭和 43 年 11 月 1 日生まれ。さる年さそり座 O 型。丸亀在住・本籍豊浜。座右の銘は先憂後楽。好きな作家は塩野七生と司馬遼太郎。特技は楽器演奏で、好物は子供の好きそうな食べ物。子供の頃、坂出の野山を駆けずり回りながら育ち、坂出付属中(ブラバン)・丸亀高校(テニス・器械体操)を経て、東京工大卒・同大学院修士修了(後に東京大学博士号取得)。米カリフォルニア大学バークレー校客員フェロー、東京大学産学官連携研究員などを歴任。2004 年から思いがあり政治の世界に。防衛庁長官秘書官、衆議院議員秘書を経て、自民党香川県第 3 選挙区支部長に就任。第 46 回総選挙にて初当選。

現在、衆議院の安全保障委員会、海賊テロ特別委員会、科学技術イノベーション推進特別委員会に所属。党本部の青年局次長、広報戦略局次長、国会対策委員。保険議連、証券議連、サービサー議連、日仏議連の事務局次長。日イスラエル議連、日ドミニカ共和国議連、日ベラルーシ議連の事務局長。

大野敬太郎事務所のご案内

丸亀事務所 〒763-0082 丸亀市土器町東 1-129-2 TEL:0877-21-7711/FAX:21-7701
観音寺事務所 〒768-0022 観音寺市本大町 1797-2 TEL:0875-23-1231/FAX:25-9539
東京事務所 〒100-8981 千代田区永田町 2-2-1 衆議院第一議員会館 1211 号
TEL:03-3508-7132/FAX:03-3502-5870
メール:marugame@keitaro-ohno.com 若しくは kanonji@keitaro-ohno.com
WEB: <http://keitaro-ohno.com/> FACEBOOK: <http://facebook.jp/keitaro.ohno/>